



ステークホルダーとの価値共有

株主とともに

その他の活動をご覧になりたい方はWebサイトをご覧ください。



経営姿勢や経営戦略をご理解いただくために「株主様向けIR説明会」を開催している他、株主通信やIRサイトでの情報を充実させ、わかりやすくタイムリーな情報開示に努めています。

株主との対話を大切に

株主総会／株主様向けIR説明会

2016年6月28日、第44回定時株主総会を開催しました。1,518名の株主の方にご参加いただき、「2015年度の事業報告」「業績報告」「対処すべき課題と中期経営計画の概要」を常務(現社長)の中村から、「2016年度の業績目標」を社長(現会長)の櫻田からご説明しました。また、株主総会とは別にモスの役員など本社メンバーが株主と直接対話する取り組み「株主様向けIR説明会」を大阪、福岡、東京で開催し、計598名の株主の方にご参加いただきました。説明会では当社会長から「モスグループの共通の価値観」を、社長から「中期経営計画と業績サマリー」をご説明しました。つづく懇談会でのご意見は商品施策や経営施策の参考にさせていただきます。株主様向けIR説明会の様子



株主の期待に応えるために

株主優待／配当金

所有株式数に応じて、全国のモスグループ店舗*及びミスタードーナツ店舗(一部店舗を除く)で相互利用できる株主優待券を年2回ご提供しています。配当金は中間12円、期末14円、年間26円を配当しました。安定的な利益還元を継続することを当社の基本方針としています。

発行日	6月、11月	
対象基準	単元株(100株)以上の株式を所有している方が対象となります。 6月発行分は、3月31日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。11月発行分は、9月30日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。	
優待内容 (消費税込)	100株以上500株未満	年間2,000円分(500円×2枚×2回)
	500株以上1,000株未満	年間10,000円分(500円×10枚×2回)
	1,000株以上	年間20,000円分(500円×20枚×2回)
有効期限	6月発行分 翌年3月31日まで 11月発行分 翌年9月30日まで	

* モスバーガー、マザーリーフ、ミアクッチーナ、あえん、シェフズブイ、グリーンブリル など



ステークホルダーとの価値共有

地域社会／行政とともに

その他の活動をご覧になりたい方はWebサイトをご覧ください。



地域社会の一員として、地域に密着した社会貢献活動に積極的に取り組むとともに各地域の名物や特産品をモチーフにした地域密着型のメニュー開発にも取り組んでいます。

次世代育成のために

モスの食育プログラム

モスでは、地域の皆さまとの交流や豊かな食生活の提案を目指し、地域の小学校に出向いて近隣店舗のメンバーが出張授業を行う「モスの食育プログラム」を実施しています。この授業では、座学で「食の大切さ」をさまざまな観点から学び、実習で「テリヤキバーガー」づくりを体験します。衛生の大切さや、つくる楽しさとともに、主体的に食を考えるプログラムになっています。授業後には、「感謝をして食事をするようになった」などのうれしい声が届いています。先生役のメンバーにとっても、子どもたちとの交流を通してモスの仕事のやりがいや責任を再認識できる、貴重な機会となっています。



出張授業の様子

モスの食育プログラム開催実績



中高生の職場訪問受け入れ

モス本社では、中学生や高校生の職場訪問を受け入れています。参加した生徒にはモスのこだわりや働く姿勢、喜び、厳しさなどを伝えている他、オフィスや商品開発のキッチンに案内して、社員への質問やレジ操作を体験してもらっています。普段と異なる雰囲気初めは緊張していますが、社員の明るい挨拶や親しみのおもった会話に緊張もほぐれ、最後は笑顔で帰っていきます。将来の夢や希望を考えるきっかけとなってくれることを期待しています。

職場訪問の受け入れ

16校 82名

地域貢献のために

災害時帰宅支援ステーション

大規模な災害が発生すると交通機関が運行を停止し、通勤・通学・買い物・行楽などで外出している人は、自宅が遠方で帰宅困難になったり、至急帰宅せざるを得なくなったりして、「帰宅困難者」となります。その方々を店舗において支える役割を担うのが「災害時帰宅支援ステーション」です。

現在モスバーガー店舗では、全国の都道府県と順次締結を進めている「災害時における帰宅困難者支援に関する協定」に基づき、水道水・トイレなどを提供するようにしています。



「災害時帰宅支援ステーション」ステッカー

災害時帰宅支援ステーション

協定数 41 都道府県 1,239 店舗

モスバーガー子ども110番の店

子どもたちが危険に遭遇するなど、困ったことがあった時に安心して立ち寄れる拠点となる「モスバーガー子ども110番の店」は、2005年から登録を開始しました。各地域の警察署や自治体などと連携しながら全国で登録を進めており、地域の子どもの安全を見守っています。



「モスバーガー子ども110番の店」ステッカー

モスバーガー子ども110番の店

登録店舗数 1,160 店舗

株主関連データ

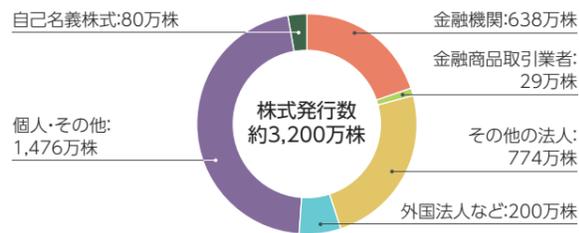
株主数(各年度における3月31日現在の数字)



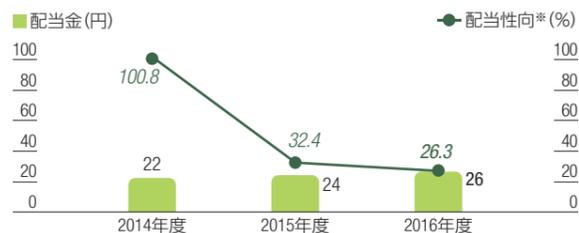
株主総会への来場者数



所有者別株式分布(2017年3月31日現在)



1株あたりの配当金／配当性向



* 当期利益からどれだけ配当金に回されたかをパーセンテージで示したものの



■ 愛のモスボックス

1979年のモスバーガー白楽店[神奈川県]の募金活動がきっかけとなり、全国の店舗に募金箱「愛のモスボックス」を設置しています。

募金の寄付先の一つ、公益財団法人アイメイト協会ではモスの募金によってこれまでに34頭の盲導犬が育ち、視覚障がい者の社会参加と、社会に適応する手段としての自立歩行のお手伝いをしています。また、2016年度は熊本地震被害に対する募金活動も実施し、たくさんの方々からの善意が集まりました。



愛のモスボックス募金を寄付

愛のモスボックス募金額

募金額 **5,546,171円**
(募金期間:2015年8月1日~2016年7月31日)

熊本地震義援金募金額 **8,565,183円**
(募金期間:2016年4月18日~2016年5月31日)

■ 子育て支援パスポート事業

全国の自治体が実施している、地域ぐるみで子育てを応援する「子育て支援パスポート事業」に、モスの店舗も順次参加しています。



子育て支援パスポート事業参加実績

19都府県 551店舗

地域とのつながりのために

■ 地域限定メニュー

モスバーガー店舗を日頃よりご愛顧いただいている地域の方々やお客さまに感謝の気持ちをこめて、2016年度は各地で「ご当地感謝祭」を開催しました。

沖縄県のモス生誕40周年を記念した「琉球クラシックバーガー」、長野・静岡・山梨の3県限定で、長野県産の豚肉を使用したメンチカツと静岡県産のキャベツを使用した「信州産豚メンチカツバーガー レモン添え」など、その地域でしか食べられないメニューを期間限定販売し、感謝祭を盛り上げました。また、中・四国限定の感謝祭では「淡路島のこだわり農家さんがつくった たまねぎバーガー和風しょうゆ仕立て」を期間限定で販売。店舗メンバーがたまねぎの産地で収穫体験をしたり、たまねぎ農家の方々をモスに招待したりするなど、地域との交流をいっそう深めました。



中国・四国 地方

協力農家の方々にモスの店舗にご招待

静岡県
山梨県
長野県



3県限定バーガーのたれ幕



沖縄県

「琉球クラシックバーガー」手づくりツール

Close Up

「選抜！直火焼チキン祭」 2店舗のアイデアを商品化

日本生まれのハンバーガーチェーンとして「日本の各地域に根付いたおいしい食べ物を、ハンバーガーにしてお届けしたい」という想いのもと、モスはこれまでご当地メニューの開発に取り組んできました。2016年は「選抜！直火焼チキン祭」をテーマに、各地域の名物や特産品をモチーフにし、直火焼チキンを使った商品アイデアを募集したところ、全国の店舗から229件ものメニュー案が

集まりました。今回はその中から、盛岡三大麺の「じゃじゃ麺」をイメージしモス流にアレンジした、矢巾店[岩手県]考案の「じゃじゃ味噌チキンバーガー シャキシャキねぎのせ」と、地元のれんこん畑からアイデアを得たという、鳴門店[徳島県]考案の「パリパリれんこんチキンバーガー 甘辛だれ」の商品化が実現しました。

矢巾店 考案

じゃじゃ味噌チキンバーガー シャキシャキねぎのせ

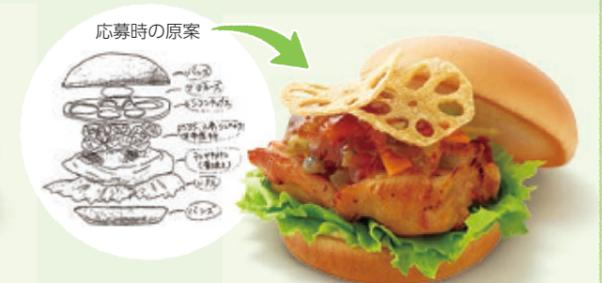
盛岡冷麺、わんこそばと並び、盛岡三大麺である「じゃじゃ麺」をもっと知ってほしい、という想いから考案された商品です。旨みと辛みを効かせたモスオリジナルのじゃじゃ味噌ソースと、ジューシーで皮がパリパリなチキンとのコラボレーションがくせになる味わいです。



鳴門店 考案

パリパリれんこんチキンバーガー 甘辛だれ

徳島県民にとって身近な存在であるれんこんでハンバーガーをつくりたい、という想いから考案された商品です。メインであるれんこんは1枚ずつ丁寧にカットし薄衣をつけて揚げ、甘くパリパリとした食感が楽しめるれんこんチップスにしました。香ばしいチキン、風味豊かな甘辛だれと絶妙にマッチしています。



同時に全国で「地域密着活動」を推進

モスでは「地域密着型高品質ファストフード」を目指し、地域に根差した「お店と地域」の関係づくりを推進しています。その一環として、「選抜！直火焼チキン祭」と同時に「地域密着活動」を推進。全国の支部でブロックごとに、清掃活動など、モスの店舗メンバーがさまざまな活動に取り組みました。例えば新潟支部では、障がいを持つ方々が描いたアート作品を店内に提示する「MOSごと美術館 with cotocoto」を開催し、障がい者と社会との接点づくりに貢献しました。



北海道支部の清掃活動



新潟支部の「MOSごと美術館」